

議会推薦 農業委員の方々が 再任しました。

井崎 英明 委員

後藤 和代 委員

櫻井美代子 委員

外山 元 委員

(50音順)

(平成27年6月8日から)

農業者等と農業委員会との意見交換会を開催して

2月27日に、若い農業者と農業委員会、関係機関の職員をアドバイザーとしてお迎えし、総勢45名で意見交換会を行いました。

今までのやり方は、全体討議のため時間の制約もあり、発言出来ない人がいました。このため前回の反省を踏まえ、今回は3グループで少人数に分けて行いました。青年農業者さん等の熱い思い、考え方や奇抜なアイデア、やり方の工夫で作業効率を高める事など勉強になる有意義な時間を過ごしました。

現在、農業は非常に厳しい時代を迎えています。若い農業者を見て、新発田地域もまだまだ頑張れると感じました。来年もこの会を続けて行きたいと思えます。

(権澤委員)



ぶ
や
き

入院日記

春、4月のある朝目覚めると、「かあちゃん、今日は暑くなるからハウスのビニール開けてくれや」と、大部屋の隣のベットから聞こえる声、お隣さんも農家の方でしょうか。この時期は、皆さん同じ心配をしています。午後から向かいのベッドに入院の方も、切り花出荷の指示を付き添いの息子さんにしています。先日退院した方は、田んぼはすべて委託して離農すると話していました。

男性は、入院中あまり同室の人と話をしたりしないから、こんな時に初めてどんな人が同室なのか知る事が出来ました。

廊下では、仕事の電話でしょうか。ここが病院と思えない、仕事大好き人間ばかり。入院中ぐらいいは、治療・養生に専念すれば良いと思うのですが、よく考えると俺も朝晩の段取りの連絡をしているじゃないかと一人で苦笑いです。

色々な話を聞いていると農業の問題点が見えてきます。農業者の高齢化、後継者・担い手不足、農地集積、米価下落と考える事はたくさんあるけれど、こんな時にはゆっくりと思いつくすのも良いかもしれません。

窓から見える田んぼにトラクターが入り、水が張られ田植機が見え始めました。鏡のような田んぼが緑のじゅうたんを敷き詰めた様になるのもすぐでしょう。

今回の入院では、家族や周りの方々に支えてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。

(宮下(正)委員)